

今月号の ■ ネット依存 1 日研修会「ネット・ゲーム依存傾向の子どもへのアプローチ」 トピックス 皆さまのご協力で成功裏に

6月5日に行ったネット依存 1 日研修会の参加状況概要と地域会場チーフの感想、参加者の感想をお伝えいたします。7月号でも感想の続編をお届けする予定です。



参加状況概要：実行委員長/大谷良光「新たな THInet の活動スタイルの確立に」

今回の研修会では 165 名(会場参加 87 名、オンライン参加 78 名)の参加をいただきました。初めての試みとして、埼玉・群馬の本部会場と 8 か所(北海道、青森、愛知、大阪、鳥取、島根、鹿児島、沖縄)の地域会場を結びながらオンラインでもご参加いただくハイブリット方式としました。今後の THInet の活動スタイルとして確立できたのではと考えております。

ネット回線やマイクの不具合等トラブルは多数有り、参加者の方々には大変ご迷惑をおかけしましたが、内容については高い評価をいただきました。当初、共催団体と後援の拡充、100 名以上の参加者を目標としていましたが、10 団体との共催、23 団体からの後援、165 名の方々に参加いただき目標を大きく達成することができ成功裏に終ることができました。

共催団体のご協力をはじめ参加者の皆さまに、この場をお借りして改めてお礼を申し上げます。

地域会場チーフの感想

島根会場/田草 雄一「大きな輪の広がり」

外来小児科学会など学校医の先生方にもお声かけをして今回多数ご参加いただきました。次の研修会も案内しますと輪が広がると嬉しいです。

内容については多岐にわたり、経験者の方のお話も大変貴重で、みなさんととてもよい感触でした。

ご講演いただいたみなさん、陰から支えてくださったみなさん、そしてご参加いただきましたみなさんの「おかげ」で次につながるとても素晴らしい研修会でした！！

愛知会場/田村 晴香「新たなスタートの機会に」

ネットリスク教育研究会愛知支部の記念すべき初回の活動となりました。今回は少人数で和やかに過ごせて、ディスカッションも多くでき、学びを深められる時間となりました。

小さな規模でのスタートでしたが、今後このような機会があれば愛知でも実施できそうだと感じています。引き続きよろしく願いいたします。

沖縄会場/高宮城 修「今後の啓発者育成に」

研修中の機器のトラブルなどもあり、受講者からのクレームを覚悟していましたが、「多角的視点な内容で学べる研修会をありがとう」と受講した皆様さまからお礼をいただき疲れもとれました。

今後は、今回の研修の機会を「気づきや学び」の場で終わらせず、依存予防啓発者育成に導けるように活かしていきます。ありがとうございました。

鹿児島会場/戸高 成人「子どもたちのために」

普及促進優先、メディア機器のリスク周知不足の状況下、大変有意義だったと感じております。

特に自助グループ Fish の体験談は一つの事例としてある意味衝撃だったと思います。相談機関や医療窓口に自ら足を運ぶことは稀で、依存傾向の子どもたちの実態は知られておりません。

子どもたちのために一人でも多くの方が研修会に参加できるよう尽力していきます。

参加者の感想

講義 1 「ネット健康被害の全体像」にていて

医師会、社会学者、ネット啓発関係者がタッグを組み大規模調査結果から打ち出す健康被害への対策は、日本全体で真剣に取り組まなければならない喫緊の課題だと改めて思った。

講義 2 「ネット依存にハマるしくみと社会的・個人的要因」について

ハマる仕組みが良く分かった。子ども達が豊かな自然の中で遊ぶ場がないことも、遊びがネットやゲームに偏ってしまう原因になっていると思う。我々大人が子ども達のために豊かな外遊びの環境を作ってあげることも大切だと思った。

ご意見・ご感想をお寄せいただくと幸いです。
連絡先：養成協 HP よりメール（燈火編集長 矢野宛）